

# 学力向上に効果のある取組事例

白杵市立白杵小学校

## ⑥ 習熟の程度に応じた指導(評価を含む)

### 取組の具体①

#### ○習熟別少人数指導

- ・こつこつコース（基礎を丁寧に行う）とじっくりコース（多様な考えに触れる）に分かれて授業を行う。少人数指導を十分に活かし、個に応じた指導や支援も行う。
- ※算数専科（白杵市加配教員）と学級担任で分かれて授業を行う。

#### ○教科担任制推進教員(理科)

- ・教科担任制推進教員（理科）による専門的指導と指導方法の工夫改善。
- ・人材育成の視点から、若手教員（担任）が授業観察を行い、ベテラン教員（教科担任制推進教員）の指導ノウハウを学ぶことで自身の授業改善を図る。



### 取組の具体②

#### ○新大分スタンダードを意識した授業改善

- ・学習の見通しをもたせるための「めあて」の設定と学びの成果を実感できる「ふり返し」を毎時間行う。
- ・前時との違いと追及すべき事柄を明らかにした「課題」設定と、その「まとめ」を行う。
- ・生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業実践。
- ・電子黒板や1人1台端末の効果的な活用。



#### ○校内研修を核とした授業改善

- ・校内研修にて、新大分スタンダードに則った授業展開などを共通理解する。また、「めあて」「課題」などの板書プレートを作成・活用した。
- ・研究授業および互見授業の計画的な実施(Thank you チェックシートを使った略案を作成)により、授業展開や個に応じた指導の方法などについて学び合うことで、自身の授業改善や人材育成につなげる。

白杵市 Thank you チェックシート

6月24日(水) 3期 5年1組 授業者 木村 龍人・村本 忍み子

教科・領域	単元	学年目標	授業者	本時・単元・単元
算数の領域	図形	図形を認識し、図形の性質を調べ、図形を表現する。	木村 龍人・村本 忍み子	合同と三角形、四角形 本時(13/14)
本時の目標	・三角形の形や大きさが決まる要素や関係について理解し、合同図形を認識することができる。また、三角形の3つの角の大きさの和が180度であることを合同図形や多角形の角の和は三角形にわけば求めることができることを理解している。(図形・図形)			
本時の見直し	・図形を認識する要素および図形の関係に留意し、確信ののちを導いたり、図形の性質を調べたり、その性質を表現したりして発表したりしている。(図形・図形)			
評価項目	・図形の形や大きさが決まる要素や関係について、数学的に表現し、説明することができる。多角形の角の和は三角形の角の和の倍数であることを理解している。(図形・図形)			
評価結果	各々の学びの成果を振り返り、自分の学びの成果について、授業目標に三角形の図形として伝え、三角形の角の和の性質と関係付けを振り返ることができた。説明することができる。			

※1 「図形を認識する要素や関係について、数学的に表現し、説明することができる。また、三角形の角の和は三角形にわけば求めることができる」という観点から、授業の振り返りや学習記録を添削し、その旨を伝える。

※2 「図形を認識する要素や関係について、数学的に表現し、説明することができる。また、三角形の角の和は三角形にわけば求めることができる」という観点から、授業の振り返りや学習記録を添削し、その旨を伝える。

※3 「図形を認識する要素や関係について、数学的に表現し、説明することができる。また、三角形の角の和は三角形にわけば求めることができる」という観点から、授業の振り返りや学習記録を添削し、その旨を伝える。

※4 「図形を認識する要素や関係について、数学的に表現し、説明することができる。また、三角形の角の和は三角形にわけば求めることができる」という観点から、授業の振り返りや学習記録を添削し、その旨を伝える。

※5 「図形を認識する要素や関係について、数学的に表現し、説明することができる。また、三角形の角の和は三角形にわけば求めることができる」という観点から、授業の振り返りや学習記録を添削し、その旨を伝える。